

公益財団法人 浅香山病院

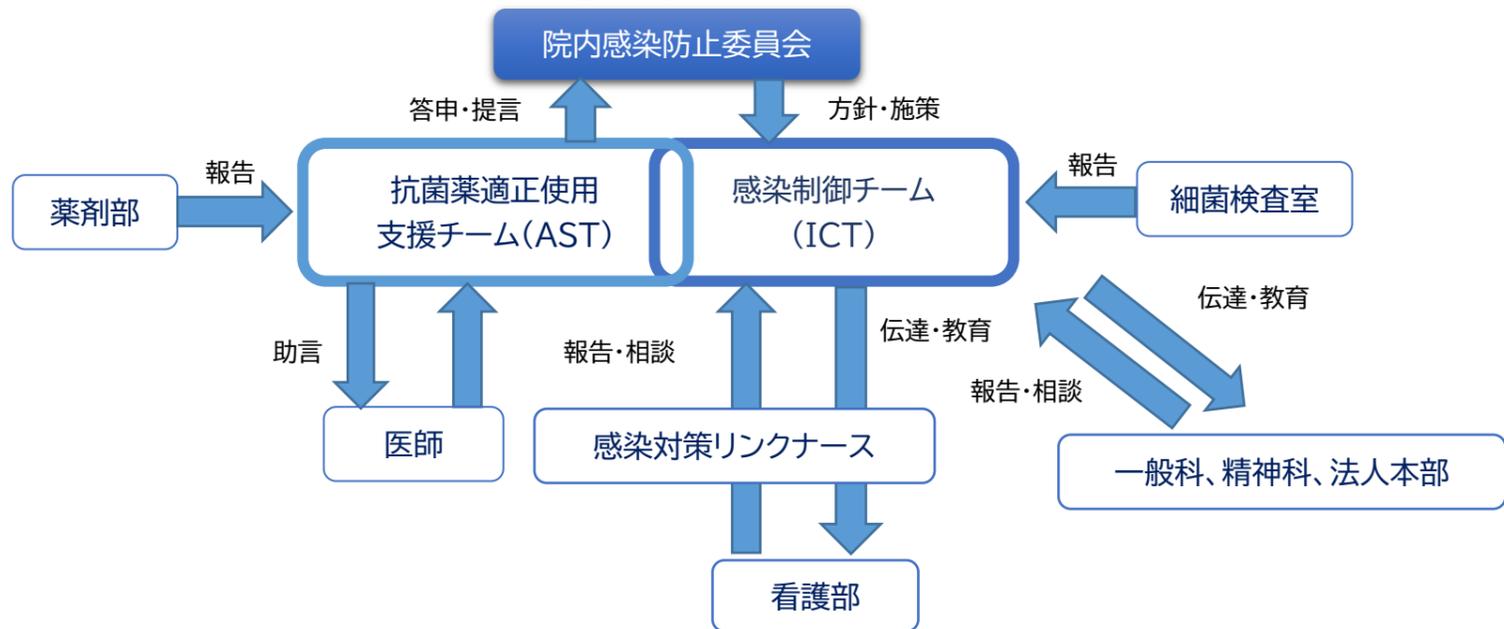
院内感染対策に対する取り組み事項

1. 院内感染対策に係る基本的な考え方

患者様やご家族様をはじめ、病院に関わるすべての人々を感染から守るために、感染に関する諸問題を解決するための感染対策チームを組織し、実践しています。

2. 院内感染対策に係る組織体制と業務内容

院内感染対策を目的として院内感染対策委員会を置きます。その実働部隊として「感染制御チーム(ICT)」「抗菌薬適正使用支援チーム(AST)」「感染対策リンクナース会」を設置しています。



【感染制御チーム (ICT) の業務内容】

- * 感染対策に関する医療・看護上のコンサルテーション
- * 院内感染発生状況の把握を行い、アウトブレイクや異常発生時の対応
- * 環境衛生、医療器具、病院建設などの問題を検討し改善を図る など

【抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の業務内容】

- * 抗菌薬に関するコンサルテーション
- * 抗菌薬の使用方法や用法、用量等の監視、介入、フィードバック
- * 抗菌薬適正使用推進のための教育・啓発 など

3. 抗菌薬適正使用のための方策

- ・ 特定抗菌薬(広域抗菌薬・抗 MRSA 薬)を使用する患者、菌血症等の特定の感染症兆候のある患者、免疫不全状態等の特定の患者集団など感染症早期からのモニタリングを実施し、必要に応じて主治医にフィードバックを行います。
- ・ 抗菌薬適正使用状況や血液培養複数セット提出率などのプロセス指標および耐性菌発生率や抗菌薬使用量などのアウトカム指標を定期的に評価します。院内で使用可能な抗菌薬の種類、用量等について定期的に見直します。

4. 他の医療機関等との連携体制

感染症発生状況、薬剤耐性菌の分離状況、抗菌薬の使用状況などを共有し、アウトブレイクあるいは異常発生をいち早く特定し、制圧の初動体制を含めて迅速な対応がとれるよう、地域の医師会や保健所、医療機関等と協力していきます。

